

Pioneer

100 ディスク CD-ROM チェンジャー

DRM-1004XR21-A

取扱説明書



特長

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくためにご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は保証書と一緒に保管してください。
使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

目次

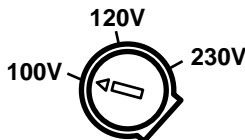
特長	2
取扱上の注意	3
キャスターロックのしかた	4
付属品の確認	4
各部の名称	5
接続のしかた	7
ディスクの収納または交換のしかた	8
ファンクションスイッチについて	11
故障?ちょっと調べてください	12
仕様	13
アフターサービスについて	14

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電圧切換スイッチ

電圧切換スイッチはチェンジャーの後面部にあります。電圧切換スイッチは工場出荷時に100Vに設定してあります。電源コードを電源コンセントに接続する前に必ず100Vになっていることを確認してください。違っている場合は、以下の手順で100Vに設定してください。

- この調整をする前に、電源コードが電源コンセントから外れていることを確認してください。
- 中型のマイナスドライバーを使います。電圧切換スイッチの穴のなかにドライバーの先端を入れ、矢印が100Vの位置になるようにドライバーを回してください。



電源コードを傷つけないように

電源コードの抜き差しは、電源プラグをもって行ってください。コートを引っ張ったり、ぬれた手で取り扱ったり、ショートや感電の恐れがあります。

電源コードはときどき点検して、傷んでいたらアフターサービス連絡先または本機の取扱店に交換を依頼してください。

チェンジャー

DVD-ROMドライブ 2台, CD-Rドライブ 1台 搭載
ディスク収納枚数100枚
50枚マガジン2個で前面よりマガジンの交換が可能
ディスク交換時間(クランプアップ~次ディスククランプ)
平均5秒(最大7秒以下)
メールスロット(水平トレイタイプ)搭載
ディスク交換およびプラスワンディスクの使用可能
コントロールパネル搭載
オフラインでのディスク交換可能
SCSI 2インターフェース採用
(チェンジャー, ドライブ共)
SCSIバスターミネータ搭載
(チェンジャー, ドライブ共)

各部ドライブに外部SCSI端子搭載により、多用途なシステムインテグレートに対応可能。
チェンジャー部よりドライブのIDを自動的に認識します。

DVD-ROMドライブ

転送レートの高高速化の実現(サステイン)
最大3,300Kbyte/sec(DVD-ROM)
最大3,000Kbyte/sec(CD-ROM)
アクセスタイム
ランダム平均150m/sec(DVD-ROM)
512バイトブロック対応
オーディオ出力を装備

CD-Rドライブ

最大8倍速記録
再生時の転送レート(サステイン)
最大3,600Kbyte/sec
バッファサイズ: 4MB

CD-Rディスクについて

必ず弊社推奨ディスクをお使いください。
また、推奨CD-Rディスクは販売店にご確認ください。

取扱上の注意

設置について

水平でかつ堅牢な床である場所を選んでください。下記のような場所は避けてください。

- ① 直射日光の当たる場所やストーブなどの暖房機具のそば。
- ② 湿気やホコリの多い場所。
- ③ トイレ（洗面所）や調理場の近く。
- ④ スポットライトの当たる場所。
- ⑤ 冷蔵庫や調光機器、冷暖房機などの大型製品の近く。
- ⑥ 床が弱くて水平でない場所。
（水平でない場合には、硬い板などを敷いて、本機が水平になるようにしてください。）
- ⑦ サービス、メンテナンスがしにくい場所。

システムを壁ぎわへ設置する際、後側へ手が届くようにある程度隙間を開けてください。

チェンジャー本体の上に直接、物などを載せるのは避けてください。


取扱上の注意

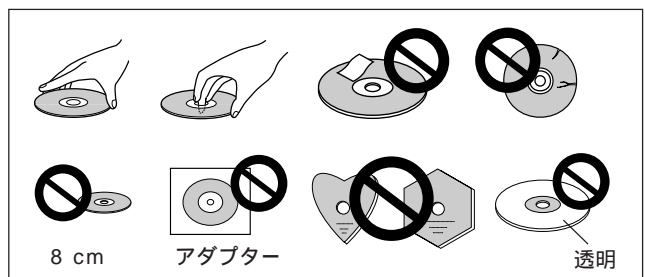
- 利用する電源に合わせて、リアパネルにある電圧切換スイッチを設定しご使用ください。利用する電源と設定が合っていないと、所定の性能が得られない場合や機器が破損する場合があります。
- 取り扱うディスクの信号面に汚れ、キズ、指紋等付かないよう十分注意してください。そのようなディスクの場合、所定の再生性能や記録性能が得られなくなります。
- メールスロットに一度に2枚以上のディスクを載せないでください。故障の原因となります。
- マガジンの出し入れにより、ディスクを交換した場合は必ず、SCSIコマンドの "INITIALIZE ELEMENT STATUS" を実行してください。ストレージエレメントイニシャライズをオートに設定してあれば（8ピンディスプレイスイッチ（フロントドア内部）特にこのコマンドの発行は必要ありません）。
- チェンジャーはディスクの内容の管理は行っていませんので、データ管理はホストコンピュータと対で行ってください。
- ライタを使用する際、その記録用ディスクは弊社が推奨しているディスクをご使用ください。推奨以外のディスクですと所定の記録性能や再生性能が得られない場合があります。なお、記録されたデータについては保証の対象外となっております。
- 付属のドアキーはなくさないように十分気を付けてください。ドアキーがないとディスクの取り出し、挿入、交換（メールスロット、マガジン共）ができなくなります。
- 安全のために
本機を机の上に置かないでください。
本機を2台以上積み重ねることや重量物を上に載せることはおやめください。
- チェンジャーは外径12cmのディスクのみ使用可能です。チェンジャーはディスク有無検出機能を備えていますが、その方法は12cmのディスクの外周から約5mmの部分で光学的に検出していますので、その部分が透明になっているようなディスク、8cmアダプターを使用した場合や外径8cmのディスクを使用すると、ディスク有無を誤り、ディスクを破損する場合があります。
- 本機は安全のため内蔵のドライブの動作中にドアを開けることはできません。
- 本機内蔵のドライブではディスクが高速で回転するためそれに伴う若干の振動、音が発生することがありますが異常ではありません。また、これによる性能への影響はありません。

結露現象について

本機を冷えきった状態のまま温かい室内に持ち込んだり急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。このような場合には1時間程度放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

ディスクの取り扱いについて

- 本機には次に示すマークのついたディスクをお使いください。
- ディスクを持つ場合には、信号面をさわらないようにしてください。
- 両端を挟むようにして持つか、中央の穴と端を挟んで持つてください。
- レーベル面に紙やシールなどを貼り付けしないでください。また、レーベル面にもキズなどを付けないようにしてください。
- ディスクはチェンジャー内で高速回転しています。異常なディスク（ひびが入ってしまったディスクや大きく反ってしまったディスク）は使用しないでください。
- 静電気を帯びたディスクは使用しないでください。
- 8cmディスクや8cmのディスクのアダプターは使用しないでください。
- 特殊な形状のディスクは使用しないでください。
- 外周部が透明なディスクは使用しないでください。
（CD-Audio Maxi-singleなど）



ディスクの手入れ

- ディスクは従来のオーディオレコードと同様プラスチック製です。反らないように注意し、必ずケースに入れ、高温多湿の場所や極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。車のシートの上なども予想以上に高温となりますのでご注意ください。
- ディスクについている注意書は必ずお読みください。
- ピックアップレンズは通常汚れるものではありませんが、ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、修理をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーナーには、レンズを破損する恐れのあるものもございますのでご注意ください。

本機のお手入れ

パネルやボンネットの清掃は、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を5～6倍に薄めた水に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。ベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがありますので使用しないでください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は、化学ぞうきん等に添付の注意事項をよくお読みください。

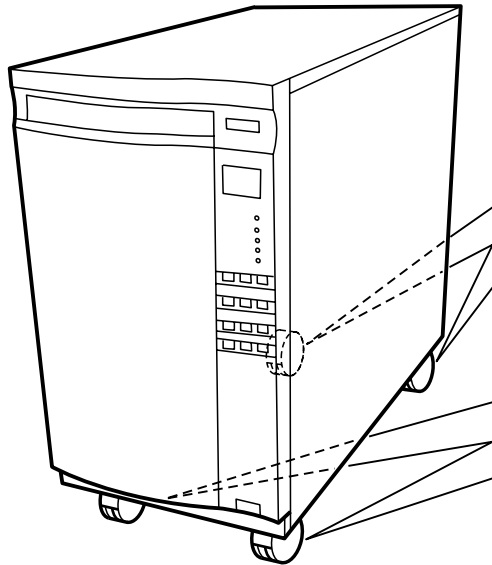
キャスターロックのしかた

本機を床の上などで使用する場合は、本機が不用意に動かないようにロックすることができます。設置後は必ずキャスターを4輪ともロックしてください。

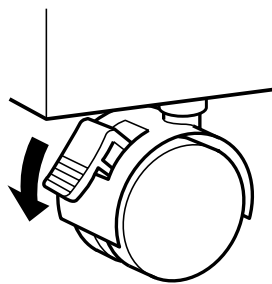
ご注意：

本機を強く押すと、キャスターのロックが外れる場合があります。傾いた場所には設置しないでください。また台車等に載せて移動するときにはご注意ください。

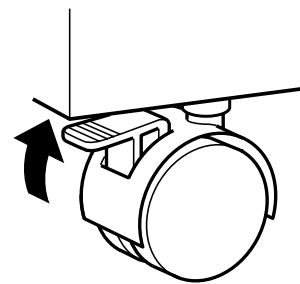
ロックがかかりにくいときは車輪を少し回転させてください。



ロック状態
ツメを押し下げるとロックする。

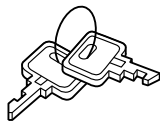


ツメを跳ね上げるとロック状態を解除する。

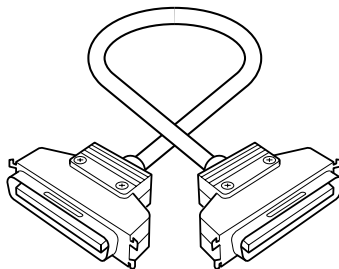


付属品の確認

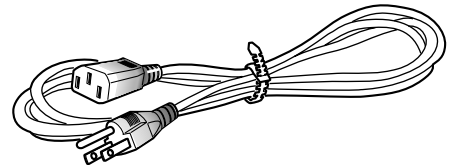
ドアキー x2



SCSIケーブル x3

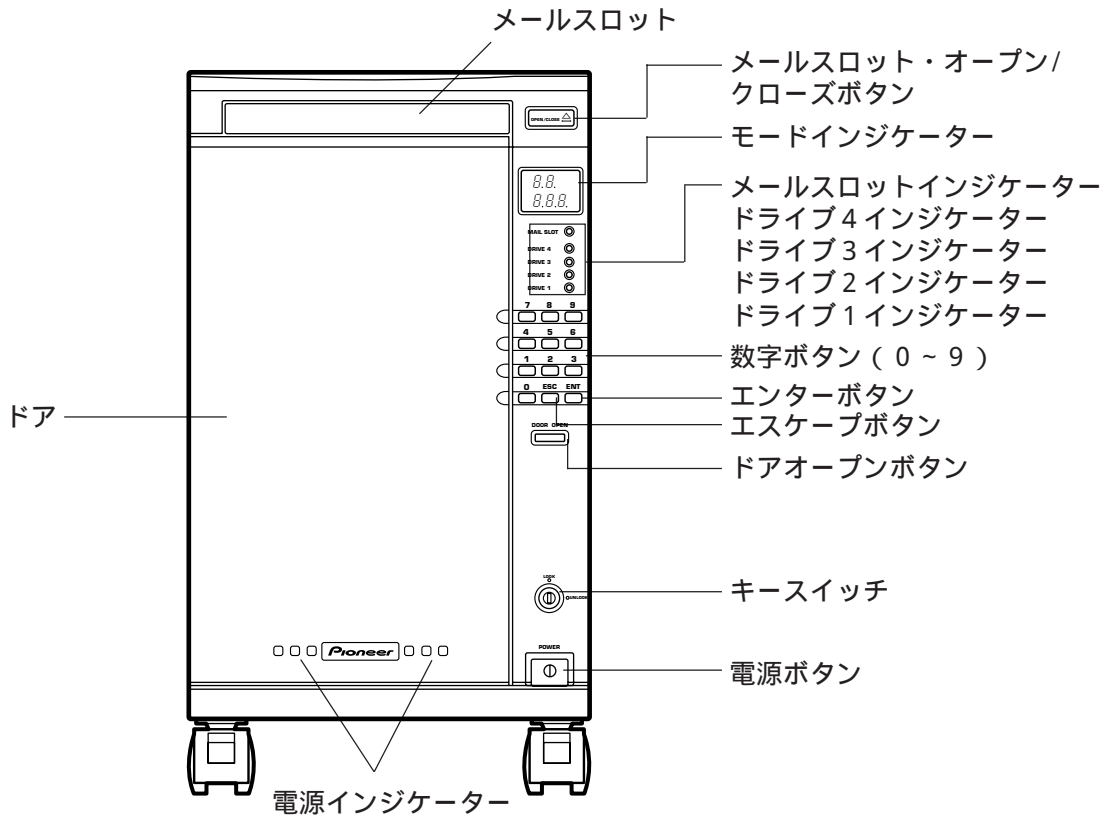


電源コード x1

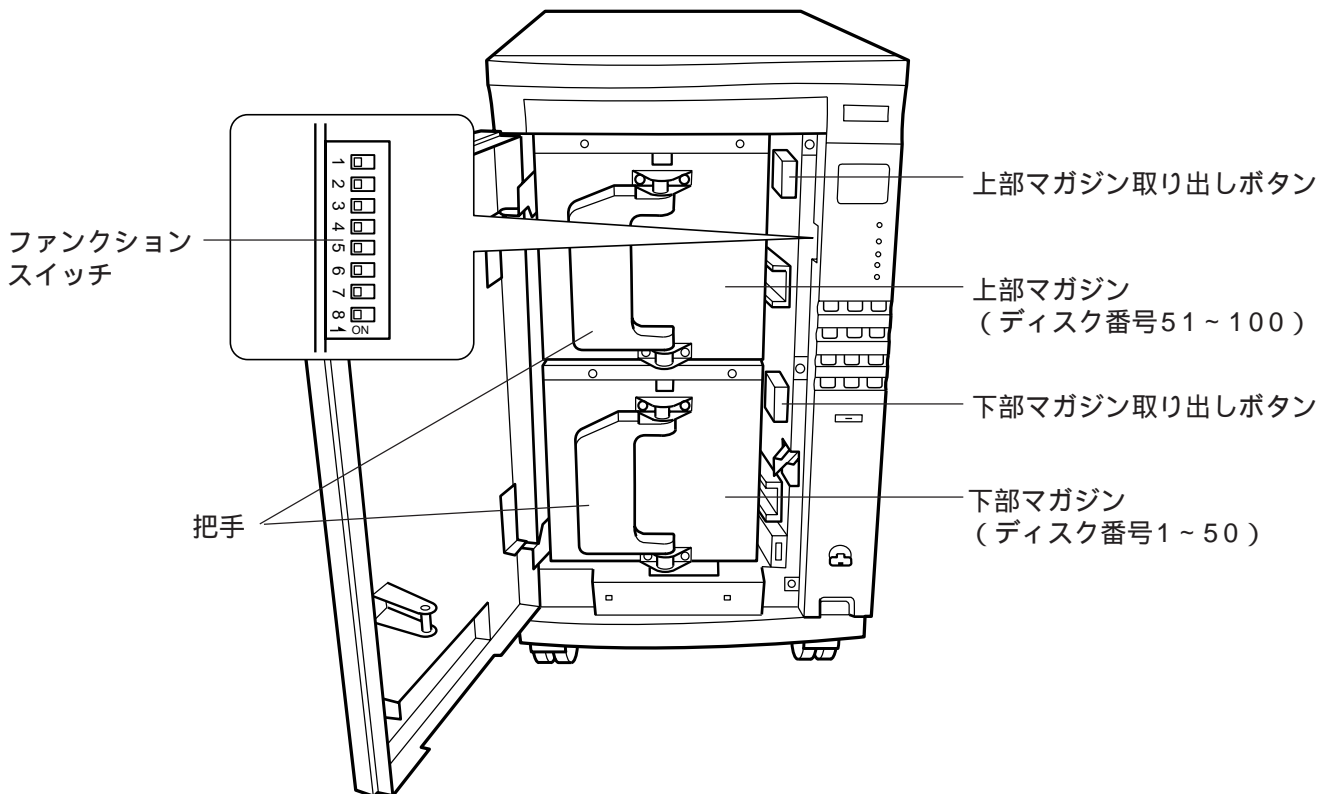


各部の名称

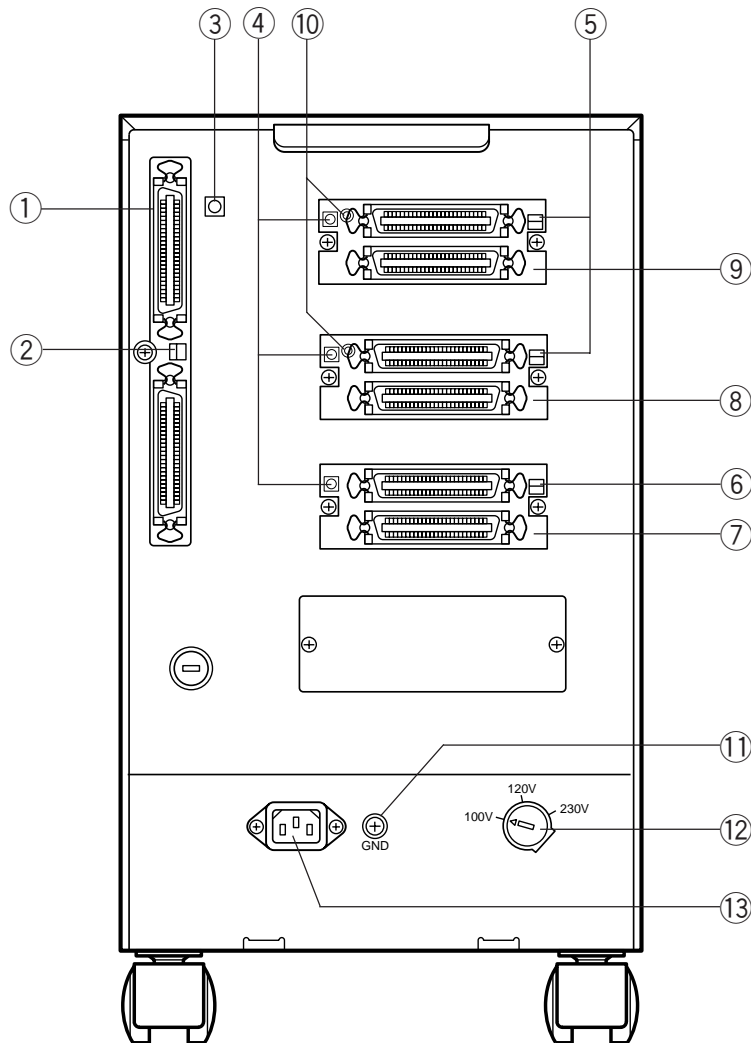
[前面部]



[ドアを開いた状態]



[後面部]



① SCSIコネクタ

② チェンジャー用ファンクションスイッチ

1: SCSI接続した機器で、一番最後の機器にターミネータが必要です。チェンジャーが最後の機器の時は、このスイッチをONの位置にしてください。

2: 予備

③ チェンジャー用SCSI IDスイッチ

④ DVD-ROM/CD-Rドライブ用SCSI IDスイッチ
同じSCSIバスで使用する場合(デージーチェーンで使用する場合は、異なるID番号にしてください。

SCSIにて接続した機器のID番号を設定します。けっして同じ番号にならないようにしてください。同じ番号では、システムが動作しなくなります。

ご注意:

SCSI ID設定時、SCSI IDの矢印を数字と数字の間で止めないようにしてください。矢印が確実に数字に向くように設定してください。

⑤ DVD-ROMドライブ用ファンクションスイッチ

1: SCSI接続した機器で、一番最後の機器にターミネータが必要です。ドライブが最後の機器の時は、このスイッチをONの位置にしてください。

2: データブロックサイズを512 (OFF) バイト ↔ 2048 (ON) バイトを切り換えます。

⑥ CD-Rドライブ用ファンクションスイッチ

1: SCSI接続した機器で、一番最後の機器にターミネータが必要です。ドライブが最後の機器の時は、このスイッチをONの位置にしてください。

2: パリティスイッチがONの場合、CD-Rドライブ側でSCSIデータバス上の入力データに対して奇数パリティチェックを行います。OFFの場合は行いません。CD-Rドライブからの出力データにはパリティスイッチのON/OFFに関係なくパリティビットが付加されます。

⑦ ドライブ2 SCSI端子

⑧ ドライブ3 SCSI端子

⑨ ドライブ4 SCSI端子

⑩ オーディオ出力端子
アナログオーディオ出力用のミニジャックです。

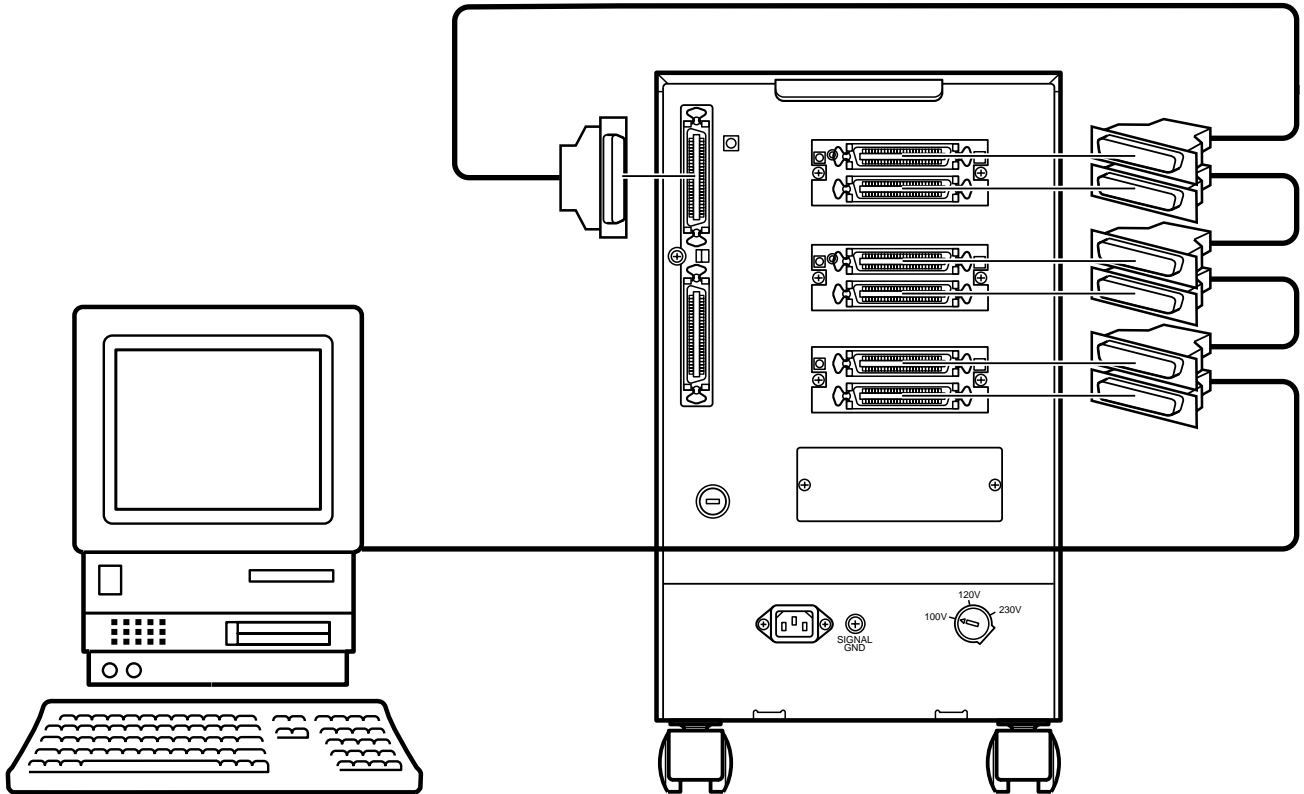
⑪ グランド端子

⑫ 電圧切換スイッチ
2ページを参照してください。

⑬ 電源コード接続端子

接続のしかた

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず機器の電源スイッチを切ってから行ってください。本機は各ドライブとチェンジャー機構制御部にそれぞれ専用のSCSIコントローラと外部SCSI端子を2個装備しています。これにより、使用環境に合わせた自由なSCSI接続が可能で、ドライブ、チェンジャーそれぞれ独立した制御ができるようになっています。



接続時の注意

SCSIのID、各ドライブのターミネータが確実に設定されているか確認してください。

デージーチェーン接続時はチェンジャーが終端となるように接続し、各ドライブのターミネータはOFF、チェンジャーのみONにし、またSCSI IDが重複しないようにしてください。

ご注意:

SCSI ID設定時、SCSI IDの矢印を数字と数字の間で止めないようにしてください。矢印が確実に数字に向くように設定してください。

ドライブ、チェンジャーのSCSI IDスイッチ、ターミネータスイッチは、後面部にあります。

ターミネータ スイッチ

ホストコンピュータ	
ドライブ2	OFF
ドライブ3	OFF
ドライブ4	OFF
チェンジャー部	ON

ディスクの収納または交換のしかた

ホストコンピュータから指示を出し、1枚ずつディスクを入れる方法

ディスクの収納、ディスクの取り出し、ディスクの交換の方法は基本的に同じです。ディスクを収納するのみでは、ディスクをディスクトレイに載せます。ディスクを取り出すのみでは、ディスクトレイからディスクを取り出します。ディスクの交換の時は、ディスクトレイのディスクを取り出し、別のディスクをディスクトレイに載せます。

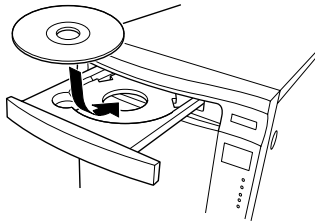
1 ホストコンピュータから POSITION TO ELEMENT コマンドを発行する。

- メールスロットが開きます。

2 ディスクトレイの上にレーベルを上にしてディスクをセットする。

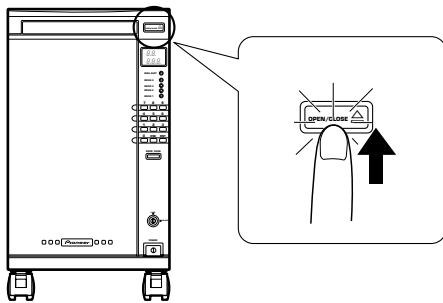
メールスロット部のディスクトレイに一度にセットできるディスクは1枚です。2枚以上セットすると故障の原因となります。

- ディスク交換する場合
ディスクトレイ上のディスクを取り出し、収納するディスクをディスクトレイに載せてください。
- ディスクを収納する場合
ディスクトレイにディスクを載せてください。
- ディスクを取り出す場合
ディスクトレイ上のディスクを取り出してください。



3 メールスロットのオープン/クローズ ボタンを押す。

- メールスロットが開まります。



4 ホストコンピュータから MOVE MEDIUM コマンドを発行する。

- メールスロット上のディスクがマガジンに収納されます。

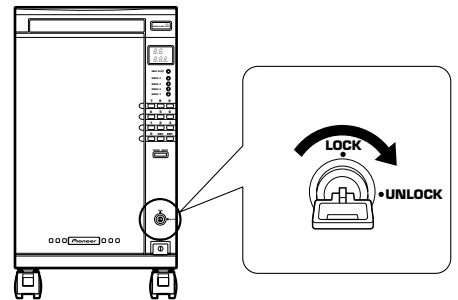
上記の手順を繰り返して、100枚のディスクをインストールすることも可能ですが、ホストコンピュータとチェンジャー両方の操作が必要です。そこで、チェンジャーのコントロールパネルだけで操作することが可能なインストールの仕方が次の方法です。

チェンジャーのコントロールパネルを操作して、1枚ずつディスクを入れる方法

ディスクの収納、ディスクの取り出し、ディスクの交換の方法は基本的に同じです。ディスクを収納するのみでは、ディスクをディスクトレイに載せます。ディスクを取り出すのみでは、ディスクトレイからディスクを取り出します。ディスクの交換の時は、ディスクトレイのディスクを取り出し、別のディスクをディスクトレイに載せます。

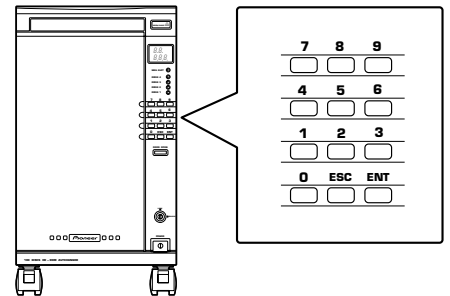
1 キースイッチにキーを差し込み UNLOCK 方向へ回す。

- 通常キーが無ければ、LOCK の位置です。



2 ディスクを入れるアドレスをコントロールパネルの数字ボタンで指定する。

- アドレスは、0001h から 0064h の HEX コードですが、この場合、10進数の 1~100 で指定します。
- たとえば、1を押すと、#1番地を意味し、"CH 1"がモードインジケータに表示されます。



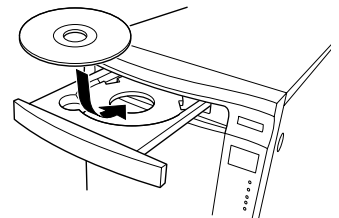
3 コントロールパネルのエンターボタンを押す。

- メールスロットが開きます。

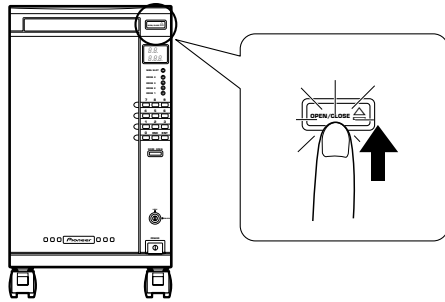
4 ディスクトレイの上にレーベルを上にしてディスクをセットする。

メールスロット部のディスクトレイに一度にセットできるディスクは1枚です。2枚以上セットすると故障の原因となります。

- ディスク交換する場合
ディスクトレイ上のディスクを取り出し、収納するディスクをディスクトレイに載せてください。
- ディスクを収納する場合
ディスクトレイにディスクを載せてください。
- ディスクを取り出す場合
ディスクトレイ上のディスクを取り出してください。



- 5 メールスロットのオープン/クローズ ボタンを押す。
- メールスロットが閉まります。
 - メールスロットにディスクが入っていることを示すインジケータが点灯し、最初に指定したディスク番地にディスクを運びます。
 - ディスク番地にディスクが入ると、記憶し、これでディスク1枚のインストールは終了です。

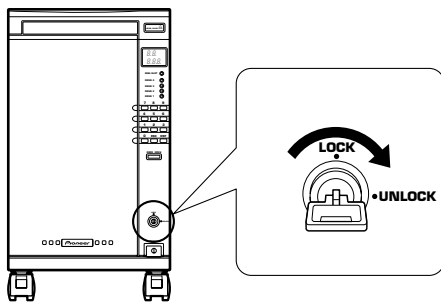


- 6 上記の手順を繰り返して、100枚のディスクをインストールする。

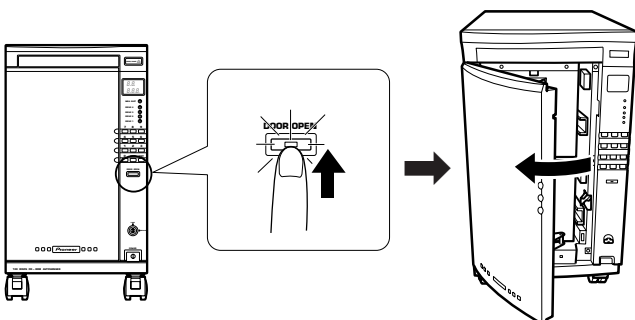
50枚マガジンを取り出して、ディスクを入れる方法

この方法でディスクを入れるときには、ディスク盗難などから守るため、キーを使用しないと、マガジンが取り出せなくなっています。

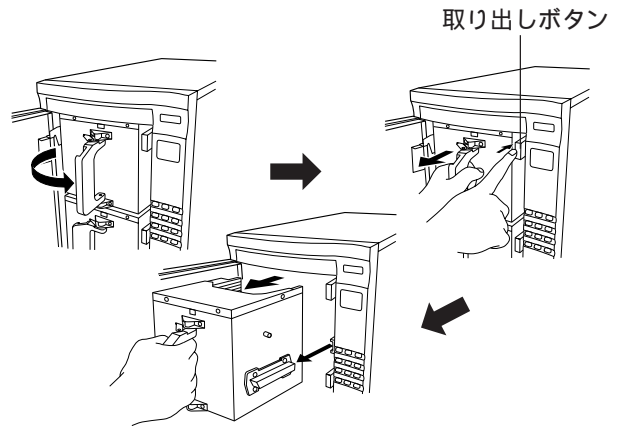
- 1 キー スイッチにキーを差し込みUNLOCK方向へ回す。
- ドアオープンボタンが点灯します。



- 2 ドアオープン ボタンを4秒以上押す。
- モードインジケータの"OP"表示が点滅し、メカニズムの初期化をします。
 - 初期化が終了すると、フロントドアが開きます。
 - モードインジケータに"OP U-L"が表示されます。"U"は上側のマガジン、"L"は下側のマガジンを示しています。

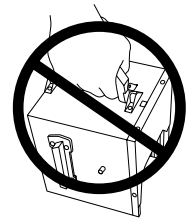


- 3 マガジンの把手を手前におこし、取り出しボタンを押しながら、マガジンを手前に引き出す。
- 引き出されたマガジンを示す表示が点滅します。両方のマガジン共、引き出してかまいません。

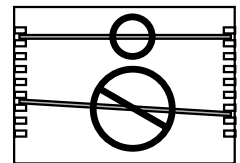
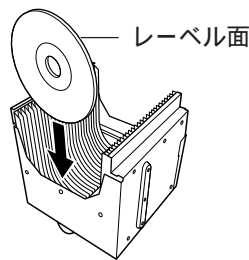


ご注意:

- マガジンにディスクを入れたまま下に向けたりしないでください。ディスクが落下します。



- 4 マガジンにディスクを入れる。
- レーベルが上側になるようにし、斜めにならないように正しく入れてください。
 - 1つのマガジンには、合計50枚ディスクを入れられます。
 - 絶対に斜めにいれないでください。ディスクにキズが付きます。



マガジンに直接手でディスクを入れる場合は、以下のことに気を付けてください。

- レーベル面を上にして入れる。
 - 左右の棚の位置を合わせ水平に入れる。斜めに挿入するとディスクを傷つける恐れがあります。
 - ディスクの記録面に傷を付けない。
- 確実にマガジンにディスクを入れるため、できるかぎりメールスロットを使用しディスクのセットを行ってください。

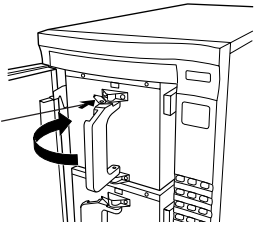
- 5 マガジンを元のようにチェンジャーの中に入れる。
- 銀色の板を押しながら、把手を左方向へたたくてください。

ディスクの収納または交換のしかた

ご注意:

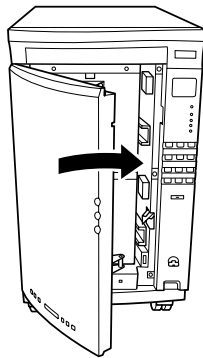
- マガジンを挿入するときは、左側のガイドをチェンジャー内部のレールに合わせていれてください。
- マガジンにディスクを入れたまま下に向けたりしないでください。ディスクが落下します。
- マガジンをチェンジャーに挿入するときは、ゆっくりと挿入してください。強く急激に押し込むとマガジンに入っているディスクが飛び出し、故障またはディスクの破損の原因となります。マガジンからディスクの一定量が飛び出している場合は本機内部のセンサーが働き、メカ動作を停止し、モードインジケータにエラーコード "E 8 3" を表示します。その場合はマガジンを抜きディスクが飛び出していないか確認し、(飛び出している場合は元に戻す)電源を入れ直してください。
- もし、ディスプレイの "U" または "L" 表示が点滅しているときは、同一のマガジンが正しくセットされていません。もう一度セットし直してください。
- "OP U-L" の "-" 部分のみが点滅しているときは、ディスクからマガジンが飛び出していることが考えられます。マガジンを取りだし、ディスクを正しく入れ直して、再びマガジンをチェンジャーへセットしてください。

この銀色の板を押す。



6 フロントドアを閉める。

- ディスプレイは、"- - - -" の表示になり、メカニズムの初期化を始めます。



7 キーをLOCKの位置に回す。

- LOCK の位置にすると、キーは取り出すことができます。
- 再びホストコンピュータからコントロール可能です。

ご注意:

マガジン内のディスクの有無を記憶させることを自動初期化(オートイニシャライズエレメントステータス)と言います。上記の手順でディスクを交換した場合、ディスク有無情報は不明となります。必ず初期化してください。

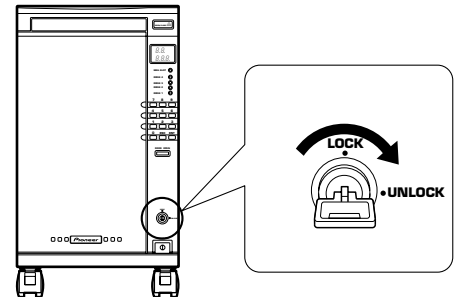
初期化のしかた

ホストコンピュータからコマンドを発行する方法は3通りあります。

- WRITE BUFFER コマンドを発行します。
- INITIALIZE ELEMENT STATUS コマンドを発行します。
- MOVE MEDIUM コマンドを発行し、ドライブにディスクを運びTOCを読み込みます。

ファンクション スイッチの設定を自動初期化モードにする方法

- 1 キー スイッチにキーを差し込みUNLOCK方向へ回す。
 - ドアオープン ボタンが点灯します。



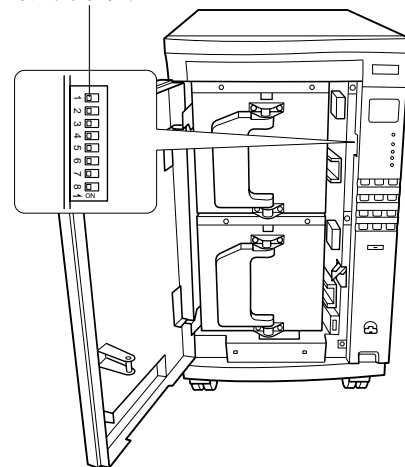
2 ドアオープンボタンを4秒以上押す。

- モードインジケータに "OP" 表示が点滅し、メカニズムの初期化をします。
- 初期化が終了すると、フロントドアが開きます。

3 ファンクション スイッチの 1 を on にする。

- ドアを閉めると、自動的に初期化をはじめます。
- ディスクの収納、交換の方法は8 ページを参照してください。

ファンクションスイッチ1



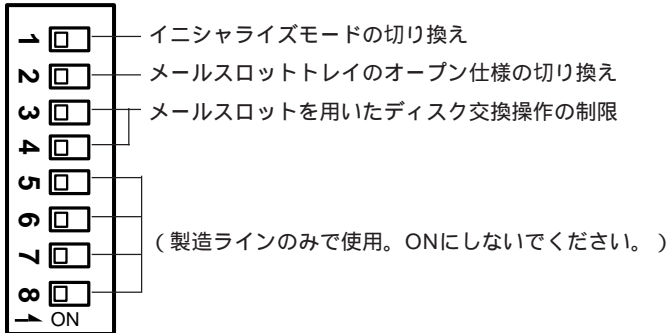
参考:

オートインストールモードは、工場出荷時には、off にしてあります。これは、ドアの開閉をすると、毎回初期化を始めてしまうためです。交換したときのみ、ホストコンピュータから初期化することをお勧めします。

本機にディスクをセットしたままの輸送、移動はしないでください。ディスクが内部に脱落したり、故障またはディスクの破損の原因となります。やむを得ずディスクを入れたまま移動した場合は、マガジンを取り出し、ディスクの飛び出しや脱落等がないか確認を行ってから使用してください。

ファンクションスイッチについて

ファンクションスイッチの設定によって動作使用を選択することができます。ファンクションスイッチはコントロールパネルの左側にあるため、フロントドアを開けた状態でないと操作できません。ファンクションスイッチは8ビットで、一番上がスイッチ1、一番下がスイッチ8です。スイッチは工場出荷時には全てOFFになっています。スイッチを手前におこすと、ONになります。



スイッチ	OFF <input type="checkbox"/>	ON <input type="checkbox"/>
1	コマンドイニシャライズモード	オートイニシャライズモード
2	トレイオートオープン	トレイマニュアルオープン
3 4	この2ビットの組み合わせで、メールスロットを用いたディスク交換操作仕様上の制限を変更します。	

スイッチ1は、保管エレメントのディスク有無情報が「不明」な場合に自動的に保管エレメントのチェックを行うためのスイッチです。100個の保管エレメントをチェックするには、5分程度の時間を要します。

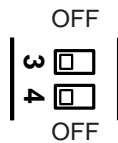
スイッチ2は、メールスロットのオープン動作を自動的に実行しないようにするスイッチです。ディスク交換操作などでメールスロットを使用する場合、自動的にトレイがオープンした方が操作性は向上します。しかし安全性や保管場所を考慮したとき、ボタンを押すまでトレイオープンしないマニュアルオープンの方が効果的です。

- マニュアルオープンモードであっても、ボタンを押すといつでもトレイが開くとは限りません。ボタンのインジケータが点灯しているときだけ、そのボタンは機能します。

スイッチ5からスイッチ8は製造ラインでの調整や試験の時に使用するもので、必ずOFFにしておいてください。

最後に、スイッチ3とスイッチ4の組み合わせで、メールスロットを用いたディスク交換操作仕様上の制限がどのように変化するか説明です。

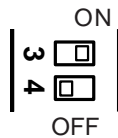
モード0



	LOCK	UNLOCK
コントロールパネルからの操作	禁止	許可
ホストコンピュータからのコマンドでの操作	許可	禁止

工場出荷時の設定です。キースイッチの切り換えで、コントロールパネルからの操作とコマンドでの操作を選択することになります。

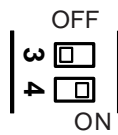
モード1



	LOCK	UNLOCK
コントロールパネルからの操作	許可	許可
ホストコンピュータからのコマンドでの操作	許可	許可

チェンジャーを個人で使用している場合に便利な設定です。LOCKでも操作に制限がないので、キーを抜いておくことができます。

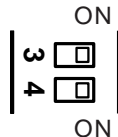
モード2



	LOCK	UNLOCK
コントロールパネルからの操作	禁止	許可
ホストコンピュータからのコマンドでの操作	禁止	許可

チェンジャーをネットワークで共有している場合に便利な設定です。通常使用時はLOCK位置にしてディスク交換を禁止しておき、ディスク交換の必要があるときに、UNLOCKに切り換えて操作します。

モード3



	LOCK	UNLOCK
コントロールパネルからの操作	禁止	許可
ホストコンピュータからのコマンドでの操作	禁止	禁止

チェンジャーをネットワークで共有している場合、もっとも安全な設定です。ディスク交換は、キーの管理者がコントロールパネルで行う以外できません。

故障? ちょっと調べてください

故障かな? . . . と思ったり、モードインジケータにエラー表示 ** E がでたら、ちょっとチェックしてみてください。保守の不完全や、ディスクの不良、操作の不慣れなどにより、故障したように思われたり、エラーコードは表示されます。案外、簡単なミスや勘違いをしていたり、ちょっとしたお手入れで直ることがあります。下の項目をチェックしても直らない、エラー表示が消えない場合は、アフターサービス連絡先または本機の取扱店にご連絡ください。

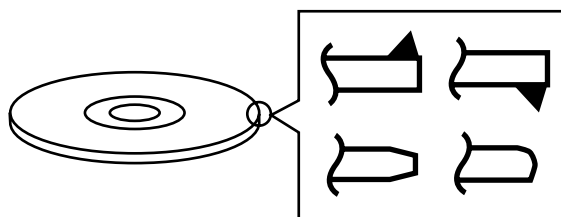
症状	表示	原因	処置
ドアが開かない。		<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチがUNLOCKになっていない。 ● ドアオープンボタンを4秒以上押ししていない。 ● ディスクがドライブに残っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 付属のキーを使いキースイッチをUNLOCKにする。 ● ドアオープンボタンを4秒以上押す。 ● Rezero Unitコマンドを発行する。
動作しない。 電源インジケータが点灯しない。		<ul style="list-style-type: none"> ● 電源が入っていない。 ● 電源スイッチがONになっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードをコンセントに接続する。 ● 電源スイッチを押す。
動作しない。 電源インジケータ点灯。		● 電圧切換スイッチが230Vになっている。	● 電源ボタンを押して、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、2ページ「電源切換スイッチ」の項を参照して、正しく100Vに設定してください。
	OP U-L	● ドアが開いている。	● ドアを閉める。
	E83	● チェンジャー内部でディスクが飛び出している。	● ドアを開け、マガジンを取り出しディスクが飛び出していないか確認する。
コントロールパネルでディスク交換ができない。		● キースイッチがLOCKになっている。	● 付属のキーを使いキースイッチをUNLOCKにする。
ホストコンピュータから操作できない。		<ul style="list-style-type: none"> ● チェンジャーとのSCSIケーブルの接続が間違っている。 ● チェンジャーのファンクションスイッチ、SCSI IDが正しく設定されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続ケーブルを確認する。 ● ファンクションスイッチ、SCSI IDスイッチを確認する。
ディスクがドライブにセットされない。		● 指定したアドレスにディスクが入っていない。	● ディスクの収納されているアドレスを選ぶ。
データがでない。		<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクの向きが上下逆。 ● ディスクが傷ついている、または汚れている。 ● 結露している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクの向きを確認する。 ● ディスクのキズ、汚れを確認し、ディスク交換、クリーニングを行う。 ● 電源を切り、ドアを開けたままで1～2時間放置してから使用する。

上記処置を行った後、本機の電源を切り、再び入れてください。それでもエラー表示が消えない、または動作しない場合はそのまま本機の電源を切り、アフターサービス連絡先または本機の取扱店にご連絡ください。上記エラーコードおよびその他のエラーコードの説明については、チェンジャー内部のドア裏側に一覧が貼ってありますので、そちらをご覧ください。

以下のディスクはチェンジャーの動作でディスクに支障をきたしたり、ディスクの破損をおこす恐れがありますので使用前にご確認ください。

外周部に図のような著しいバリ(はみ出した部分)があるディスク

外周部のテーパまたはラウンド(丸み)が図のように極端に大きいディスク



仕様

一般

型式 100ディスクCD-ROMチェンジャー
 電源 AC100V/120V/230V(切り換え可能)、50/60Hz
 消費電流(電力) 1.6A(110W)
 質量(ディスクマガジンを含む、ディスクを含まず) 32.9kg
 外径寸法 263(幅)×484(高さ)×588(奥行き)mm
 許容動作温度 +5 ~ 35
 許容動作湿度
 (結露なきこと) 20% ~ 80%
 保存温度 -30 ~ +55

機能

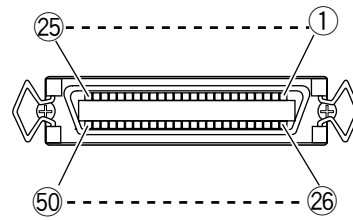
収納ディスク(12cm) 最大100枚
 取り外し可能マガジン 各50枚収納可能マガジン2個

付属品

ドアキー(フロントドア施錠用) 2
 SCSIケーブル 3
 電源コード 1
 取扱説明書 1

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

SCSI端子仕様



1) SCSIコネクタピン配列

信号名	ピン番号		信号名
GROUND	1	26	-DB(0)
GROUND	2	27	-DB(1)
GROUND	3	28	-DB(2)
GROUND	4	29	-DB(3)
GROUND	5	30	-DB(4)
GROUND	6	31	-DB(5)
GROUND	7	32	-DB(6)
GROUND	8	33	-DB(7)
GROUND	9	34	-DB(P)
GROUND	10	35	GROUND
GROUND	11	36	GROUND
GROUND	12	37	GROUND
NC	13	38	TERMPWR
GROUND	14	39	GROUND
GROUND	15	40	GROUND
GROUND	16	41	-ATN
GROUND	17	42	GROUND
GROUND	18	43	-BSY
GROUND	19	44	-ACK
GROUND	20	45	-RST
GROUND	21	46	-MSG
GROUND	22	47	-SEL
GROUND	23	48	-C/D
GROUND	24	49	-REQ
GROUND	25	50	-I/O

ご注意:

- ピン13は接地していません。
- コネクタは、シールドタイプです。
- コントロールコマンド等の詳細は別途仕様書をご覧ください。

2) SCSI電気的仕様

出力特性	SCSI装置が駆動する信号は下記の出力特性を持つ 真(LOW):VOL=0.0~0.5VDC IOL=48mA(0.5VDC)MAX 偽(HIGH):VOH=2.5~5.25VDC
入力特性	SCSI装置が駆動する信号は下記の入力特性を持つ 真(LOW):VOL=0.0~0.8VDC IOL=-0.4mA~0.0mA(0.5VDC) 偽(HIGH):VOH=2.0~5.25VDC

ご注意:

- SCSIバスの両端で終端してください。
- SCSI I/Fはシングルエンド型です。
- 使用するSCSIケーブルは、最大6m(機器内部配線を含む総延長)以内で使用してください。
- 付属品以外のSCSIケーブルを使用する際には、SCSI 2用のハイインピーダンスケーブル(特性インピーダンス:100±10)のものを必ずお使いください。

ご注意:

- 本機は安全のため内蔵のドライブの動作中にドアを開けることはできません。
- 本機内蔵のドライブではディスクが高速で回転するためそれに伴う若干の振動、音が発生することがありますが異常ではありません。また、これによる性能への影響はありません。

定期点検

セットの機能および性能を十分に発揮させるため、また機器の寿命を延ばすためにも定期的な保守点検を行うことをお勧めします。

アフターサービスについて

保証書（別に添付してあります）について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」等の記入を確かめて取扱店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間と保証内容について

保証期間について

保証期間は、取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用で、ご購入日より1年間とし、その期間内でも動作回数が50,000回に達した場合は、保証は打切りといたします。

次のように場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。本機を改造して使用した場合、不正使用、使用上の誤りの場合または他社製品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失（逸失利益）は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打切後最低8年間保有しています。

修理を依頼されるときは

もう一度、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、次の処置をしてください。

お願い

故障内容によっては、製品全体を取りはずすことが必要となります。その場合には、設置業者に依頼しなければサービスを行えない場合がありますので予めご了承ください。

保証期間中は

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。アフターサービス連絡先または本機の取扱店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

ご住所：
ご氏名：
電話番号：
製品名：
型番：
ご購入日：
故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
訪問ご希望日
訪問先までの道順と目標（建物・公園など）

保証期間が過ぎているときは

アフターサービス連絡先または本機の取扱店にご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

アフターサービス連絡先

TEL _____

管理会社名 _____

担当者名 _____

所在地 _____

休日 / 夜間 P M

~ A M

TEL _____

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

© 1999 パイオニア株式会社 禁無断転載

パイオニア株式会社 ☎ 153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<99L00SZ0U00>

Printed in Japan <DRA1359-A>